

国際関係小委員会から

1 第17回化学教育国際会議に多数の参加を

第17回化学教育国際会議(17 ICCE)は、今年の8月6日から10日まで中国の北京で開催されます。“New Strategies for Chemical Education in the New Century”というテーマで開催される東アジアでは18年ぶりのこの国際会議は、次のような分野の講演とワークショップで構成されます。

- Public education and chemical literacy education
- Chemistry and society
- Environment-oriented chemical education
- Green chemistry and environment-friendly chemistry experiments
- Internet, computer, and chemistry
- Modern technologies used for chemistry education
- Theoretical basis of chemical education
- Micro-scale chemistry and low-cost chemical instruments
- Chemical education and frontiers of chemistry research
- Teaching University Chemistry
- Teaching chemistry in secondary schools
- Continuing education
- Chemistry Olympiad

講演は口頭またはポスターでおこなうことができます。ワークショップでは実験器具、デモ用具、テキスト、教材、CD-ROMなどを紹介し、配布することができます。

日本の化学教育は、上記のいずれの分野でも世界のトップクラスにあることはいまでもありません。日本の教育現場の成果を世界に向けて発信し、化学教育の世界的な振興に寄与することは、グローバルな時代に生きる教育者の社会的使命でもあります。日頃の工夫の成果を国際舞台でどんどん発表し、議論を通じて世界の化学教育者との交流を深めようではありませんか。

発表申込みの締切は2002年4月30日です。Second Circular および参加申込書類は下記のホームページから入手できます。

URL=<http://www.ccs.ac.cn/17icce.htm>または、<http://www.iupac.org/symposia/conferences/17icce/> 郵送を希望される方は下記に連絡して下さい。

問い合わせ先

Professor Xibai QIU

Secretary of 17th ICCE

C/O Chinese Chemical Society

PO Box 2709, Beijing 100080, China

Phone: 86(10)6256-8157, 86(10)6256-4020

Fax: 86(10)6256-8157

E-mail: qiuxb@infoc3.icas.ac.cn

2 国際純正および応用化学連合(IUPAC)化学教育委員会が変わりました

2002年1月よりIUPACにCommittee on Chemistry Educationが設置されました。これは、従来のCommittee on Teaching of Chemistryに代わるもので、世界中の化学界での化学教育に対する関心の高まりに伴い、今後増加し多様化する要請や役割に対応するための組織替えです。新しい委員会の役員は次の通りです。

委員長: Peter Atkins (U.K.)

書記: Maia Pestana (Portugal)

常任委員: 竹内敬人(神奈川大)他5名

(URL=<http://www.iupac.org/standing/cce.html>)

3 国際化学オリンピック: 2003年より代表派遣

昨年は国際化学オリンピック参加国の実態調査の結果を報告しました。本号講座に掲載されていますように、2003年の第35回大会(アテネ, ギリシア)から日本も代表を派遣することになりました。詳細は5号の本欄などで紹介される予定です。乞う御期待。

4 アジア化学会連合: 化学教育賞の制定

アジア化学会連合(FACS)では、化学教育賞(FACS Award for Distinguished Contribution to Advancement in Chemical Education)を新たに制定し、アジアの化学教育の発展に長年にわたって尽くされた方を、2年に一度のアジア化学会議(今回は2003年ハノイ)で表彰することになりました。推薦方法など詳細は決定次第お知らせします。

文 献

- 1) *Chem Educ J.* 5(1), No. 16 (2001). URL=<http://www.juen.ac.jp/scien/essj/cejrn1.html>

伊藤 真人(創価大学工学部)

化学教育協議会・国際関係小委員会委員長

国際関係小委員会委員: 伊藤真人・上野幸彦・加茂川恵司・杉村秀幸・竹内敬人・辰巳 敬・竜田邦明・野田良彦・三宅征夫・森 敦紀・山内辰治